

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

図画工作		開隆堂出版
総 評		<p>学年の発達段階に応じた内容が考えられている。児童が「やってみたい」「おもしろそう」と思える題材が多く紹介されていて、児童に興味関心を持たせる内容が多い。また、これまであまり見られなかった新しい題材の開発がされている。</p> <p>大阪市教育振興基本計画等との関連にも合っているものが多いと感じた。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの実現ができるように工夫されている。③（5・6上P.40～P.41、5・6下P.16～P.17、3・4上P.34～P.35、各学年の鑑賞） ○ 完成作品だけでなく、児童が考えたり選んだり伝え合ったりしている場面を多く掲載しており、思考力・判断力・表現力が育成できるよう配慮されている。④ ○ 豊かな心や創造性の涵養をめざした内容が配慮されている。⑤
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の中で使うものを製作する題材が多く取り上げられており、生活をよりよくしようと工夫する態度が養われるよう配慮されている。① ○ 各学年「みんなのギャラリー」では、日本各地の伝統と文化に触れており、暮らしの中の造形作品を取り上げて鑑賞できるよう工夫されている。（P.48～P.49）③ ○ 「龍」を題材にして形や色、表し方のちがいを視点を鑑賞するなどの活動は、表現及び鑑賞の相互の関連について工夫されている。⑥（5・6下P.30～P.33） ○ 材料や用具の安全な扱い方などについて資料として組み込まれ、事故防止に留意されている。⑦（学びの資料・安全マーク）
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ ミシン縫いでページが開きやすく、表紙は紙面いっぱいに見る作品とともに書名が掲載されており、児童にとって親しみやすいものになっている。① ○ さし絵や写真などが鮮明で色づかひの配慮、大きさなどが児童にとって見やすく配慮されている。③ ○ 紙面の配色がカラーユニバーサルデザインの配慮がなされている。
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他教科との関連が進められるページには「あわせて学ぼう」マークとともに、教科名が示されており、教科横断的な学習の手立てとなるよう配慮されている。① ○ 各題材で「学習のめあて」と「ふりかえり」が設定されており、それぞれの題材のねらいが児童に分かりやすく明示されている。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 視覚的に親しみやすく、イメージをふくらませやすい写真やイラストが掲載され、造形遊びは、視覚的に展開するよう配慮されている。① ○ QRコードは資料として生かせ、児童の学習意欲を引き出す一つの要因となるように思われる。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育との関連性が弱い。
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 掲載されている作品の中には、表現が稚拙なものや雑なものがあり、児童が目指す表現としては物足りなさを感じる。（3・4下P.30～P.31、P.42～P.43、5・6上P.42～P.43）④
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字がやや小さくフォントの色が薄いため、読みづらい。
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 立体のねんどの題材は、題材名にちがいはあるが、発達段階に応じた内容としてのちがいがあまり見られない。
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の補足説明やバリエーションが少ない

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

図 工		日本文教出版
総 評		<p>発達段階の特性や、題材の系統性を考えた構成になっている。ねんどを扱う題材など、学年ごとにあつためあてや視点が設定されている。</p> <p>各題材の中で資質・能力の三つの柱に基づいた学習のめあてが児童にもわかりやすい言葉で示されており、児童が主体的に学べるよう工夫されている。</p> <p>新しい題材の開発という点では、以前のものとかわらない題材が多いと感じた。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 作品や学んだことを家庭や保護者と共有したり、地域に伝えたりする活動、地域の方と共同して活動する事例などを取り上げ、社会に開かれた教育課程の実現に向けて配慮されている。(1・2上P.40～P.41、3・4上P.56～P.57、5・6上P.54～P.55) ①</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 「すきま」という生活や社会の中にあるものから形や色などを考え、豊かに関わる内容として配慮されている。① (1・2年上P.52～P.53)</p> <p>○ 身近な材料から筆をつくり、それをういて描くという造形活動が楽しく豊かな活動を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う内容となっている。④ (5・6下P.8～P.9)</p> <p>○ 題材において、共通事項を視点に対話している情景写真を多数掲載しており、作品のコメントや発表の様子、鑑賞の題材での対話の様子を紹介し、言語活動を促すよう工夫されている。(3・4下P.52～P.53、5・6下P.46～P.47) ⑤</p> <p>○ 題材ごとに「かたづけ」「気をつけよう」が表示され、事故防止に留意している。⑦</p>
	3 外的要素	<p>○ 文字の大きさ。フォント、行間が適切である②</p> <p>○ コントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインに配慮されている④</p>
	4 構成・配列	<p>○ 教科等の横断的な視点を含んだ構成となっている。① (3・4下P.50～P.51)</p> <p>○ 6年間の経験を見通して構成が組み立てられており、各学年の題材で扱う材料・用具も配慮し、経験を積み上げていけるように構成されている②。</p>
	5 資料・その他	<p>○ 仕組みの作り方などは、図で示すことで分かりやすく、児童が主体的に活動できるように示されている。(3・4上P.45) ①</p> <p>○ 作品や活動の様子が大きく見やすい写真でインパクトを持たせて掲載されており、児童の興味関心を引き出す工夫がされている。②</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 活動中に対話しながらつくっている場面を感じ取りにくい。</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ (5・6上P.34～P.35) ワイヤーを取り扱う題材ではつくっている過程が少なく、つくり方がわかりづらい。</p>
	3 外的要素	<p>○ ページ数が多いが、内容に重複するところもある。① (造形あそび)</p>
	4 構成・配列	<p>○ めあてやふりかえりがリンクしていなくてわかりづらい。</p>
	5 資料・その他	<p>○ つかう材料がくわしく紹介されていなかったり、写真でつかわれている材料と合っていないかったりしている。④ (3・4下40～41)</p>